

# 田澤湖利用の生保内發電所

東北振興電力株式會社  
理事 萩原俊一

秋田縣の田澤湖を利用せる生保内發電所が竣功し、本年2月より發電を開始した。發電設備の規模に關しては時局柄具體的な説明は出來ぬが以下寫眞に依り本發電所の外貌を説明しやう。

田澤湖の有する巨大な貯水容量の利用に依つて當社北部系統の季節的負荷變動に對應せしめると共に、湖より約20軒下流に在る2,500余町歩の國營開墾地に灌溉用水を供給し得ることゝなつてゐる。

田澤湖自身の流域面積は余り廣くないので此の流域よりの流入量のみでは同湖水を充分活用する事は出來ないから、湖より流出する

湯尻川を塞ぐと共に湖水附近を流れて居る玉川及同支川の先達川の水を流入せしめる事とした。(取水關係略圖参照)

生保内發電所は現在の處、北部東北地方の最大の發電所である。

## 1 玉川取水路

### イ 堰堤

コンクリート造溢流型堰堤で、堰堤右岸寄りに有効幅3.0mの木製排砂門2門を設けた。堰堤基礎は所謂フロテング・フハウンデーションで先づ木工沈床を置きその上をコンクリートで固めた。尙堰堤には流木路を附設した。

寫眞 1. 玉川取水口 a, 堰堤 b, 堰堤排砂門 c, 取水口。

